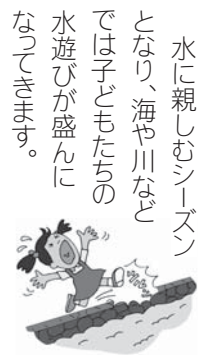


6〜8月は、夏期における水難事故防止期間です



水に親しむシーズンとなり、海や川などでは子どもたちの水遊びが盛んになつてきます。昨年、高知県内では10件の水の事故が発生し、このうち中学生以下の子どもは3件発生しています。例年、この時期に子どもたちの痛ましい水の事故が多くなることから、警察では6〜8月の間、重点的に子どもを水の事故から守る活動を行います。★危険な場所の点検を！ 転落しやすい場所など、身近な水辺の点検をしましょう。

★子どもだけの水遊びには注意を！ 子どもだけで水遊びをして

いる場合は、声をかけてやめさせましょう。

★幼児から目を離さない！ 保護者が同伴していても油断せず、幼児から目を離さないようにしましょう。

★水の怖さの再確認を！

家庭等で水の怖さについて話し合い、してはいけないことの再確認をしましょう。

▼痛ましい水の事故から子どもたちを守るために、「声かけ」など、地域の皆さんのご協力をお願いします。

(香南警察署内・香南地区地域安全協議会地域安全アドバイザー・長田麻紀)

シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底しよう！



シートベルトの着用は、安全運転へのスタートライン「全席 全員 シートベルト」を習慣にしましょう！

シートベルトの着用率は、後部座席とチャイルドシートの着用率は、依然として低い数字を示しています。

シートベルトの正しい着用は、交通事故に遭った場合の被害を大幅に軽減する(非着用者は死亡率が高い)とともに、疲労を軽減するなど、さまざまな効果があります。運転者は、自動車を運転する

る時には、同乗者全員にシートベルトを着用させなければなりません。

※後部座席のシートベルト非着用は、現時点では、高速道路および自動車専用道路における違反に対して違反点数が付加されます

■子どもの命を守るチャイルドシート！

衝突時、抱っこでは子どもを支えることはできません。またシートベルトでは、衝突時に小さな体がベルトをすり抜け大変危険です。

子どもの安全のために、体格にあったチャイルドシートを使用しましょう。

(高齢者アドバイザー・岡崎由美)

平成23年度 市県民税 第1期の納期限は 6月30日(木)です。期限内の納付をお願いします。

人権啓発映画をテレビ放映します

- ◆放映日時: 6月18日(土) 16:00~16:50
◆題名: 『へんてこなボランティア』
◆放送局: テレビ高知
◆問い合わせ: 市役所人権課



今回の東北地方の地震や津波は原子力の問題まで引き起こして、その被害は関東地方にまで及んでいる。また、海上にまで広がった被害は世界の経済にも影響が出て、世界各国から支援や救済の手を差しのべてもらっている。そうした中であって、高知は大した被害がなくて済み幸せであったと考えら

れることだろうか。日本の今後の経済面に大きな影を落としているのだ。しかし、自分は老人だし、何もできないから政府や若い人たちに任せておけばよいと傍観視して済まされることではないと思う。年を取っていても、元気であれば何か役に立つことはないかと考えるべきではないだろう。

東日本の災害に思う

このことを思うと胸が痛くなる。しかし、今あるのは、この人たちのことをも含め、今後の日本の復興のことである。国民の一人一人が協力し、努力することにより、日本はこれまで以上に健全な国になることを信じてやまない。それは今から60年前、戦後の日本を生きてきた私の経験から言えることだ。当時の日

本はアメリカの爆撃や原爆で焼土となっていた。家はなく、職もなく、衣食住にも事欠いた時代であった。その中で、人々は働く以外になかった。休みなく身体を動かして働いていた。その姿を外国の人たちは「兎小屋に住む働き蜂」と言った。日本人は働く以外に何もできない人種のように見られてきた。しかし、そのうちに世界第二の経済大国と言われる日本が建立されたのである。



経済面で各方面に支障ができた現在、私たちがもそのことをよく考えて困難を乗り越えなければならないと思う。 たけむら 泰

※市内在住者に、コラムを書いてもらうコーナーです



としょかんナビ

●休館(室)日 (香我美・野市図書館)毎月の月曜日・第2木曜日・祝日 (夜須図書室)祝日のみ (吉川図書室)土・日・祝日

新着案内 野市図書館より ☎56-3434

《大人向け》

- ◆いねむり先生 伊集院静/著
◆ナニワ・モンスター 海堂尊/著
◆やんちゃな時代 林真理子/著
◆原発のどこが危険か 新版 桜井淳/著
◆地震から子どもを守る50の方法 増補版 国崎信江/著
《子ども向け》
◆ミヤマ物語 第2部 結界の森へ あさのあつこ/著
◆とくべつなお氣に入り エミリー・ロツダ/作
◆びあのうさぎ あきやまただし/作・絵



柳本章の

ファンタ爺の空間

5月10日(火)~22日(日)、香我美図書館で「柳本章のファンタ爺の空間」が開催されました。柳本さんがみかん畑の周りにあるスギやヒノキの枝を伐採して作った約40点のオブジェを展示。皮をはいて、干して、磨いて、ニスを塗っての地道な作業で、雑木が見事に生まれ変わりました。

見る人それぞれがいろいろな形に見える楽しい作品展に、来場者は「想像力をかきたてられるような立派な作品に圧倒されました。まさに、ファンタジーの世界にいるようで、時間がたつのを忘れました」と自然の造形美に感動していました。



トールペインティング ~山びこ荘の花達~

赤岡町在住の中西奈穂子さんとトールペイント仲間の作品の展示です。お問い合わせの上、ぜひご来場ください。

- ◆開催期間: 6月5日(日)~19日(日) 10時~17時 ※6日(月)・9日(木)・13日(月)は休館、最終日は15時まで
◆開催場所: 香我美図書館2階 展示室
◆入場料: 無料

図書案内 夜須図書室より ☎54-2121

《大人向け》

- ◆三十光年の星たち 宮本輝/著
◆人質の朗読会 小川洋子/著
◆県庁おもてなし課 有川浩/著
◆天狗小僧魔境異聞 坂東眞砂子/著
◆原子炉時限爆弾 広瀬隆/著
◆断捨離で日々是ごきげんに生きる やましたひでこ/著

《子ども向け》

- ◆妖精の国1001のさがしもの ジリアン・ドハーティ/作
◆奇跡 中村航/著

庄野潤三/著

『庭のつるばら』 一貫して「家族」をテーマに書き続けてこられた庄野さんの晩年の夫婦生活を描いた秀作。今の日本は、大震災後の底知れない不安の中にあるような気がします。そんな状況の中で、腐ることなく、諦めることもなく、全力を尽くしている人は美しく見えます。庄野さんの作品は、そんな日本人の気配が感じられるような、とても美しい日本語で書かれています。それに6月といえば、花嫁の季節。新しく家族をつくれる方にも、おすすめの一冊です。

『庭のつるばら』

新着図書より Pick up!



『おおはくちょうのそら』

手島圭三郎/作・絵

北海道の湖のおおはくちょうたちは、春が近づき北の国に帰るためにいっせいに飛び立ちました。その中に、病気で空を飛ぶことができない子どものために、帰る時期を遅らせていたおおはくちょうの家族がいました。しかし、旅立ちの日は近づいてきます。おおはくちょうの家族の悲しくもやさしい物語です。

そして、おおはくちょうの気高い美しさと強さをみごとに表現しているすばらしい版画も味わってください。

